

第6回災害対策本部会議概要

日時	令和元年10月15日(火) 12:50
場所	市役所本庁舎2階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、経済産業省、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会 ※内堀雅雄福島県知事(13:00入室、挨拶後退出)

○総務部長

- ・台風第19号に係る10月15日(火)午前9時現在の人的被害状況を報告する。
亡くなられた方 4名、行方不明の方 2名、怪我をされた方 1名

○消防団

- ・昨日まで各地区の排水を実施。
- ・帝京安積高校付近、水門町、富久山町など、午前中は7地区隊、午後はさらに4地区隊が応援に入った。

○保健福祉部長

- ・台風第19号に係る10月15日(火)午前9時現在の指定避難状況を報告する。
避難所開設 17箇所 避難者 635名

○保健所長

- ・避難所の健康管理の取組を継続して実施中。

○郡山医師会

- ・保健所と協力し、医療機関に情報提供している。
- ・医師会に災害対策本部を設置した。

○郡山警察署

- ・管内で信号損傷が12箇所。

○経済産業省

- ・避難所の物資対応、ガソリンスタンド対応、何かあれば連絡欲しい。

○政策開発部長

- ・10時30分から市役所正庁に支援相談窓口を開設した。
- ・13時までに123名の市民が来庁した。

○学校教育部長

- ・ 5校を臨時休校としている。(赤木小、永盛小、小泉小、小原田小、芳賀小)
- ・ 小原田小学校と芳賀小学校については、明日は開校。

○建設交通部

- ・ 道路の路面清掃
美術館通り、うねめ通り、東部幹線、中央工業団地の幹線は実施した。
中央工業団地の枝線、水門町、永徳橋、富久山町は未完了。
- ・ 西田町、田村町、中田町は土砂による通行止があり。
- ・ 磐越西線は運行再開の見通しがたった。
- ・ 磐越東線、水郡線、福島交通バスは運行再開の見通しが立たず。

○総務部長

- ・ 台風 19 号による浸水区域を図面で説明する。
建設交通部の職員現認区域に加え、浸水ハザードマップにより浸水可能性が高い区域を示した。
- ・ 浸水エリア内世帯数等については、建設交通部の職員現認区域は 14,824 世帯、31,252 人、
浸水ハザードマップにより浸水可能性が高い区域を加えると最大で 21,331 世帯、46,263 人が被災したと考えられる。

【市長から】

○連日連夜、御苦勞様。交代しながら職員の健康管理にも留意して災害対応にあたること。衛生状態が大事なので、医師会と協力しながら、万全の体制で対応すること。

○災害ごみの対応も大事であることから次の点に留意すること

- ・ エリアごとに道路及び敷地内に出された「災害ごみ」の巡回回収を速やかに実施すること。
- ・ 民地内に置かれたものは、廃棄物であることを確認したものを収集すること。
- ・ 地元議員や行政センターへ事前説明を行うとともに町内会長に文書で周知すること。

○生活環境部

- ・ 福島県建設業協会郡山支部とこおりやま建設協会の協力により、以下の地区を回収。
若葉町・赤木町、水門町・石淵町、田村町（神明下）、阿久津・富久山町小泉、安積町
- ・ グンダスト事業協同組合の協力により、田村町（徳定）地区を回収。
- ・ 搬入先は、河内埋立処分場。

【内堀 福島県知事あいさつ】 ※13 時入場、13 時 10 分に市内被災状況確認のため退室

- ・ 連日、御苦勞様。この後、郡山市の被災状況を一部確認する。
- ・ 郡山市が県内でも、一番厳しい状況。御苦勞されていることと思う。
- ・ 当面の応急対応も、本格復旧も、ともに協力して取り組んでいきたい。